

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年12月11日 (2014.12.11)

【公開番号】特開2013-94410(P2013-94410A)

【公開日】平成25年5月20日 (2013.5.20)

【年通号数】公開・登録公報2013-025

【出願番号】特願2011-239736(P2011-239736)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

A 6 1 B 3/10 (2006.01)

A 6 1 B 3/135 (2006.01)

G 0 2 C 13/00 (2006.01)

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/16

A 6 1 B 3/10 R

A 6 1 B 3/12 F

A 6 1 B 3/10 U

A 6 1 B 3/10 Z

G 0 2 C 13/00

G 0 2 C 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月27日 (2014.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼内レンズ度数決定装置であって、

被検眼前眼部からの反射を検出して前眼部断面画像を得る前眼部撮像デバイスと、

前記前眼部撮像デバイスによって取得された前眼部断面画像に基づいて水晶体前面からチン小帯と水晶体の接点までのオフセット距離を求め、眼の前房深度に前記オフセット距離を加えることにより予測術後前房深度を算出し、該予測術後前房深度を用いて眼内レンズの度数計算を行う度数計算ユニットと、

を備えることを特徴とする眼内レンズ度数決定装置。

【請求項 2】

請求項 1 の眼内レンズ度数決定装置において、

前記度数計算ユニットは、前記予測術後前房深度を、各眼内レンズ固有の A 定数によって補正することを特徴とする眼内レンズ度数決定装置。

【請求項 3】

眼内レンズ度数決定装置の動作を制御する制御装置において実行される眼内レンズ度数決定プログラムであって、

前記制御装置のプロセッサによって実行されることで、

前眼部撮像デバイスによって取得された前眼部断面画像に基づいて水晶体前面からチン小帯と水晶体の接点までのオフセット距離を求める第 1 ステップと、

眼の前房深度に、第 1 ステップで求められた前記オフセット距離を加えることにより予

測術後前房深度を算出する第２ステップと、

第２ステップで算出された前記予測術後前房深度を用いて眼内レンズの度数計算を行う第３ステップと、

を前記眼内レンズ度数決定装置に実行させることを特徴とする眼内レンズ度数決定プログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

(１) 眼内レンズ度数決定装置であって、被検眼前眼部からの反射を検出して前眼部断面画像を得る前眼部撮像デバイスと、前記前眼部撮像デバイスによって取得された前眼部断面画像に基づいて水晶体前面からチン小帯と水晶体の接点までのオフセット距離を求め、眼の前房深度に前記オフセット距離を加えることにより予測術後前房深度を算出し、該予測術後前房深度を用いて眼内レンズの度数計算を行う度数計算ユニットと、を備えることを特徴とする。

(２) (１)の眼内レンズ度数決定装置において、前記度数計算ユニットは、前記予測術後前房深度を、各眼内レンズ固有のＡ定数によって補正することを特徴とする。

(３) 眼内レンズ度数決定装置の動作を制御する制御装置において実行される眼内レンズ度数決定プログラムであって、前記制御装置のプロセッサによって実行されることで、前眼部撮像デバイスによって取得された前眼部断面画像に基づいて水晶体前面からチン小帯と水晶体の接点までのオフセット距離を求める第１ステップと、眼の前房深度に、第１ステップで求められた前記オフセット距離を加えることにより予測術後前房深度を算出する第２ステップと、第２ステップで算出された前記予測術後前房深度を用いて眼内レンズの度数計算を行う第３ステップと、を前記眼内レンズ度数決定装置に実行させることを特徴とする。